

日本植物学会 第84回大会

オンラインパネル展示

日時：2020年9月19日（土） - 21日（月・祝）

会場：オンライン開催

参加リソース・課題：12課題

シロイヌナズナ等実験植物/植物場用細胞・遺伝子、イネ、コムギ、オオムギ、ミヤコグサ・ダイズ、トマト、広義キク属、アサガオ、藻類、細胞性粘菌、情報センター、NBRP広報室（リソース寄託・提供相談窓口）

○参加理由

コロナ禍でのオンライン学会において、団体（複数リソース）でのNBRPパネル出展は初めてとなる。12月にオンライン開催される日本分子生物学会年会での大規模パネル出展が控えているため、オンライン開催でのノウハウを蓄積する目的を兼ねる。

日本植物学会では過去にオンサイト開催での出展経験もあり、オンライン開催との違いを明確にすることも可能である。

もちろん、植物研究分野でのNBRPリソースの利活用促進が目的であり、オンサイト開催とは異なる広報メリットを探る。

○結果

・大会参加者数：1549名

・NBRP展示サイト訪問者数（重複なし）：572名/12課題・3日間

以下、展示参加NBRP課題担当者からの意見のまとめです。

1) linkbizによるオンラインチャットについて

- ・質問に対してURLや画像等を提示して詳しい情報を提供できるのは良い
- ・チャットでのオープンディスカッションに抵抗があるためか、質問者は少数
- ・オンライン展示対応への事前準備の必要性（リソースに関する画像等の資料の充実）

2) Spatial Chat（休憩室）について

- ・直接の会話ができ、実際の展示に近い機能で、（課題管理者間や、質問者に対して）オンラインでの学会に有効。今後、NBRPで独自に開設してはどうか。

3) その他

- ・NBRP-HP等での事前広報の不足（学会大会のNBRPバナーから具体的な展示内容を示すページへのリンクが必要）
 - ・学会参加者をNBRP展示サイトへと誘導する仕組みの不足（一般参加者(通りすがりの研究者)の行動パターンの中に入り込んで誘引できる仕組み・仕掛けの必要性）
- 具体例：リソースに関する関係者のセッション・ポスター発表から、展示へ誘導する。